



永平寺町社会福祉協議会だより

編集発行 / 社会福祉法人永平寺町社会福祉協議会
<http://www.eiheijishakyo.jp/>

2015 2月号

vol.65

みんな おとなりさん。

—第8回 チャリティ映画会開催—



ほんやなん!

フ
ン
ク
ン

ふだんの
くらしの
しあわせ

上映作品

感動の実話

くじけなないで



人生はいつだってこれから。

朝はかならずやってくる・・・。

90歳をこえて詩作を始め、160万部を超えるベストセラー作家となった「柴田トヨさん」をモデルとした作品。涙があふれてとまらない。

お子様連れの
方も安心!

くつろぎの
ひとときを!

キッズルームをご用意。
お子様向けの映画上映も(^^)

喫茶コーナー(無料)、障がい者施設
による特別販売所等をOPEN!

とき/ **3月15日(日)**

ところ/ **上志比文化会館サンサンホール**
(石上29-67-1)

上映/ 10:00~ / 14:00~ (午前、午後の2回上映)

チケット/ 大人 1,000円

小中高生、障がい者・介助者 500円

映画会の収益金は、
社協の「物品貸出事業」の財源に
充てさせていただきます。

チャリティ映画会実行委員長
城戸彩香 (福井県立大学3回生)

とくっても
心あたたまる
作品ですよ★

第8回

チャリティ映画会

主催:永平寺町社会福祉協議会、チャリティ映画会実行委員会 後援:永平寺町、(株)福井新聞社

【お問い合わせ・チケット販売窓口】

永平寺町社会福祉協議会(石上27-27)64-3000/永平寺事務所(飯島6-38)63-3868/松岡事務所(松岡吉野塚15-44)61-0111



澤山さんが訪れた世界各国

デンマーク

フィンランド

スウェーデン

ノルウェー

レバノン

シリア

ハンガリー

チェコ

ドイツ

噂の名物

おじいちゃん!

さわ やま たか お
澤山 孝男さん (永平寺町鳴鹿山鹿)

この方、ただのおおむらいさんではありません！世界を股にかけてきた、知る人ぞ知る名物おじいちゃん、澤山 孝男さん(84)。写真のコスプレのとおり、とても芸達者であることに加えて、大の『旅行』好きだそうです。

Q.一番印象に残っている国はどこですか？

A.「う～ん・・・、もう忘れてもたなあ・・・。」

そう、もう世界中駆け巡り過ぎて、思い出せないけれど、かつての旅の記憶は楽しい思い出として心に残っていると話してくださいました。

そして目に見える形としても・・・。



ご覧ください、この分厚い4冊ものアルバム。これ全部、海外旅行の写真が詰まっているんです。数えきれないほどの枚数・・・。

しかし、何といても圧巻なのはアルバム中に散りばめられた、澤山さんお手製のコメントの数々！まるで旅行雑誌です。ちなみに4冊のアルバムを拝見させていただいたところ、訪れた国々の数、なんと66ヶ国！旅を通して観た景色、出会った人々は数えきれないでしょう。

そして、澤山さんらしくユーモアな形で「思い出」を残しています。感動しました！

今は足腰がだいぶ弱くなり、小規模多機能型居宅介護施設「ほっこり」に通われている澤山さん。



↑ 雑誌などの文字を切り抜いて、写真に添えている。



今、行ってみたい国は「オーストラリア・ニュージーランド」。

澤山さん、その夢、実現させましょう！！

あなたがやって来る世界にはHAPPYが満ち溢れている！

ブラジル

フランス

イタリア

イギリス

エジプト

ギリシャ

台湾

キルギス

カザフスタン

ウズベクスタン

ゲルジア

アゼルバイジャン

アルメニア

ベトナム

タイ

カンボジア

ホンジュラス

グアテマラ

ペリズ

南アフリカ

ナミビア

ボツワナ

ザンビア

ジンバブエ

メキシコ

ペルー

スロベニア

クロアチア

ボスニア・ヘルツェゴビナ

オランダ

リトアニア

エストニア

ラトビア

ロシア





フロントバンパーはアンパンマンの国！
側面には子どもが喜ぶプーさん、ティガーが描かれている。
まさにファンタジックワールドだ。



バンド「ザ・ブルーハーツ」を愛する仕事師。
大切な、こだわりの車検公認車。
このトラックは、ドラマ「流れ星お銀！事件
解決いたします」に出演したこともある。

類稀なる発想と実行力

松岡志比塚区の宮崎さん宅。まず目に飛び込んでくるのが写真のトラックだ。正面には「茶髪は働く好青年」という潔い文句がドンと構えている。かと思えば、フロントバンパー部分に描かれているのはアンパンマンとバイキンマンのイラスト。そして両側面にはデイズニーキャラクターの姿が！まさに夢が詰まったトラック、その名は「歩夢號（あゆむごう）」。

長男の歩夢君が生まれた時に「見て喜ぶものを作ろう」と思ったのがきっかけで、このトラックが誕生したという。



社協の一大イベント「ふれ愛フェスタ」ではお馴染みとなったロードトレイン。これも宮崎さんの手作りによるものである。

子どもたちのためにすべてを注ぐ

宮崎さんは、自分のお子さんだけではなく、地域の子どもたちに対しても労力を惜しまない。子どもは宮崎さんの生きがいだという。

宮崎さんの子どもたちへの熱い想いを現したエピソードを聞いた。

「息子が野球を習っているんです。すると遠征などが多い。大型バスをチャーターしようとする結構な金額がかかる。遠征も頻繁にあるので、それならばいっそのこと買ってしまおうと（笑）」

「自費ですか……？」の問いかけに、「もちろん自費で。」

これには仰天してしまった。熱すぎる！！

一見にこやかで、口調も穏やかな宮

崎さん。しかし心には熱い魂が秘められていた。

子どもたちが離れていけない町に

生まれも育ちも永平寺町である宮崎さん。春江工高の自動車科を卒業し、すぐに自営業の仕事に就く。県外に出たことはないという。

宮崎さんはこう話す。

「永平寺町に長年住んでいると、縁というか、人間関係のつながりの強さを感じることが多いですね。僕はこの町が好きです。今、町から子どもたちが県外にどんどん出ていってしまっていますよね。僕は子どもたちが『ここに残りたい！』と思えるような、そんな夢のある町になって欲しい、そう願っています。」



プロフィール

宮崎 博行 (36歳)

1978年6月22日生まれ。

夢叶商事株式会社 代表取締役。



わたしの地元のいいところ 新たな一步を踏み出したい！ 大切なのは「顔を合わせること」



祖跡・大仏寺山を背に、棚田状に広がる田畑をまたいで、中部縦貫道が緩やかにカーブしている。ここには上志比の水瓶、そして小中学校もある自然豊かな栗住波区。

およそ80世帯の住民が暮らすこの地区で、区長の役割を担う南部政雄さん、そして区の福祉委員である加藤哲郎さんに、区の福祉における現状と課題、そして今後の取り組みについてお話を伺いました。

以前、区にお住まいで日中独居（昼間ひとり暮らし）の高齢者がいた。近頃あまり姿を見かけないな……。虫の知らせか、南部さんは胸騒ぎがした。

「なにか気になる……。」

その後、区民の方がたまたまお宅にお伺いすると、その方は玄関で倒れてい



加藤福祉委員(左)と南部区長(右)。

た。直感が現実となってしまう……。南部さんは言う。

「それからですね。安心して暮らしている地域にしていかなければならないと思ったのは。」

栗住波区では4年前より「小地域福祉委員会」を発足させ、定期的に区での気がかりなことなどを話し合っている。平成27年の目標は「できることから始めよう！」。子どもから高齢者までを区民同士で「見守る」活動の推進や、緊急時のための安心カード、そして要援護者（助けを必要とする人）の台帳を作成するなど課題は山積している。ただ、福祉委員である加藤さんの想いは熱い。

「新たな一步を踏み出したい。目に見える形で実績を残せるように。」

高齢化が進む栗住波区。ひとことで「見守り」と言ってもたやすく済むものではない。

「日常の見守りをするにしても、要援護者の台帳を作るにしても、その人の実情がわかる情報が不可欠。今は個人情報保護という観点から、行政もなかなか情報を提供してくれない。」南部さんは頭を悩ませる。しかし、その反面、栗住波区ならではの特徴を教えてください。

「月2回、配布物を配る日がありますよね。大切なのは、配る時にただポストに入れるだけでなく、家人と対面して、つまり顔を合わせて渡すことだと思うん

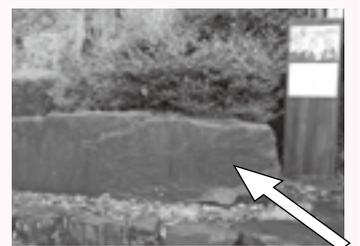
～ちよつといわぶく～

「栗住波のお清水」



区の一隅にある湧き水。区民の洗い場として今も使われている。

「不思議な石橋」



昔、山から石を降ろしてきて頑丈な橋を川に架けた。この橋は不思議な力を持っており、病気の者が橋の下を通るとすると病が治癒するなどした。以来、この橋は、この場所ので、病気が治る石橋として、村人からあがめられるようになった。

です。栗住波区ではそういうことが自然とできています。

ポストに投函すれば確かに楽である。人と顔を合わせる必要がなく、その煩わしさを感じなくてすむ、そう思う人もいるだろう。しかし、会うことで「気づいたり」、会うことで「安心したり」、また「つながりが深まったり」する。最後に、栗住波区の子どもの書いた一句を紹介したい。（七夕の願いごとより）

くりすなみ
みんなが
つながる

この子の願いが叶いますように……
(笑)

介護保険サービス使いこなし術！

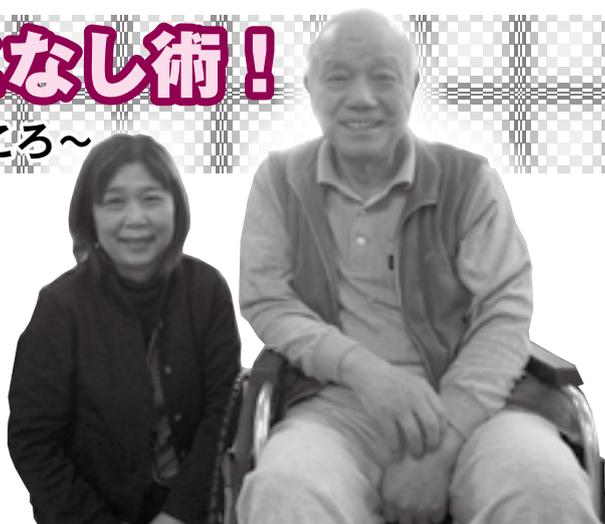
～さまざまなサービスを上手に使うカンどころ～

こぼしたかえ

小林 孝榮さん(谷口区)の1日に密着！

サービス 利用状況

- 要介護度1
- 利用しているサービス
 - ・デイサービス (週3日)
 - ・ホームヘルプサービス (週4日)
 - ・福祉用具貸与 (屋内の手すり、歩行器)
 - ・訪問看護サービス (週1回)



小林さんと担当ケアマネジャーのツーショット。ケアマネジャーは小林さんのサービス利用計画を作成し、寄り添うことで信頼関係を築いている。

ある1日に密着してみました！ ～デイサービス編～



(9:00)
デイサービスの
送迎車がお迎え(^^)
「行ってきまーす！」



(11:00)
ひとつ風呂
浴びましょうか！
「いい湯だなあ♪！」



(12:00)
昼食ですよ～！
今日のメニューは、
・肉じゃが
・大根なます
・たまご豆腐
・ごはん、味噌汁
美味しそう～。



(13:00)
ちょっと休憩…。



(14:00) レクリエーションを楽しみましょう。
今日は「ボール運びゲーム」です(^^)



(15:00) おやつタイム



(15:30) 今日もご利用ありがとう
ございました。
帰宅のお時間です(^-^)



(16:30) ただいま！
帰ったよ～。



歩行器を利用することで、
行動範囲も広がって…。

玄関の手すりは立位を
安定させてくれる

どんなサービスを利用しているの？

小林さんはおひとり暮らしのため、デイサービスのご利用を含めさまざまな介護保険サービスを組み合わせ生活がされています。

- 多くの人と触れ合うことのできる「**デイサービス**」
- 手すりや歩行器のレンタル「**福祉用具貸与**」
- 家事援助等の「**ホームヘルプサービス**」
- 薬の管理などを行う「**訪問看護サービス**」

月額の利用料金って？ (小林さん:要介護度1の場合)

デイサービス (週3日の場合)	およそ 8,200円
福祉用具貸与 (手すり・歩行器)	およそ 1,300円
ホームヘルプサービス (週4日)	およそ 4,400円
訪問看護サービス (週1日)	およそ 2,500円
月額合計	およそ 16,400円

※事業所、利用日数などにより負担額は変わります。
※介護度によって負担額の上限が定まっています。

介護保険サービスは費用の1割を負担していただくことでご利用できます。

※ただし、デイサービスの昼食代などは左記とは別に実費負担となります。
(永平寺デイサービスセンターの場合、1食あたり500円。)

帰ったあとは、
大好きなテレビを
観ながらひと休み(^-^)
今日も1日お疲れ様でした。



ベッド脇の手すり。
これで起き上がりも楽々！

- ### 介護(予防)サービス利用について
- 介護サービスの利用をご検討の方は、左記の事業所のケアマネジャーにご相談ください。
- えいへいじ居宅介護支援事業所
6330305 飯島6-34
(永平寺老人福祉センター)
 - まつおか居宅介護支援事業所
6130352 松岡吉野塚15-44
(松岡福祉総合センター翠荘)
 - かみしひ居宅介護支援事業所
6433337 石上27-27
(永平寺町やすらぎの郷)
 - ケアふくい居宅介護支援センター
6102116 松岡薬師1-134
 - 永平寺ハウス居宅介護支援事業所
6344444 けやき台813-1
 - 永平寺町社協 地域包括支援センター
6430535 石上27-27
(永平寺町やすらぎの郷)



地域ふれあい支援「かさじぞう」

今年、NPO
法人設立を
目指します!

事業名:紙芝居、手作りハウスによる子育て支援事業

活動内容は?

幼稚園、小学校や福祉施設、そして高齢者が集うふれあいサロン等での紙芝居公演が、かさじぞうのメイン活動です。ただ物語を読むだけではなく、効果音や歌などを取り入れ、お客様がまるでショーを観ているかのような雰囲気を作り出すことで、みなさんに喜んでもらえるような公演を行っています。

また近年は、社協主催の「ふれ愛フェスタ」や上志比ほほえみまつりにおいて、手作りのピザやお菓子などを販売しています。これらは「手作りハウス」という作業場において、地場産の素材を存分に活かし、会員が心を込めて作ったものです。このような活動を通して地域貢献ができればと思っています。



公演では、たくさんの道具を駆使して表現に工夫を凝らしている。



代表の吉川さんよりお菓子の寄付をいただく。(ひとり暮らしの方々へのプレゼントとして。)

ぞうの会員みんなで
一歩一歩進んでいき
たいと思っています。
活動を通じて仲間
を増やしていける
よう、多くの人とつ
ながっていただけら
よ

いと思っています。

そのつながりの力を借りながら、法人化へのチャンスは今!と捉えていますので、全力で駆け抜けようと思っています。

募金していただいた みなさんへひとこと

たくさんのお志をいただきまして、本当にありがとうございます!

年間に15回ほど行っている紙芝居の公演において、観てくださった方々の心からの笑顔が私たちの活動の支えとなっています。大人も子供も、そして障がいのある人も分け隔てなく、みなさんとの「絆」を大切にしたい。

永平寺町がもっと「あったかい」地域になれるよう力を尽くしていきたいと思ひます。

今後の目標は?

今年NPO法人設立に向けて、かさじ

毎年ご協力いただいている「赤い羽根共同募金」。皆様からの募金によって活動を展開されている各種団体を、ご紹介します。

共同募金って何に使われているの?

家族介護者教室&おしゃべりサロン

「自ぎでできる簡単体操」

介護者にとって介護は毎日のごとであるが故に、その疲れから腰を痛めたり体調を崩しがちになります。

自宅でできる無理のない「ストレッチ体操」により、介護者の体力の向上および心身のリフレッシュを図ることを目的に講座を企画いたしました^(A)

日時 3月18日(水)

13:30~14:30(講義・実演)

14:30~15:30(おしゃべりサロン)

♪おしゃべりサロンでは、日々の介護で感じたことや、お悩みなどをみなさんと共有しましょう♪

おいしいお菓子もご用意しております。



会場 松岡福祉総合センター翠荘

(松岡吉野堺15-44)

講師 健康運動指導士(永平寺町社協)

定員 40名

※送迎もいたします。

事前にお申し込みください。

参加費
無料

お申し込み
お問い合わせ

永平寺町社会福祉協議会

松岡事務所 ☎61-0111

社協からの
お知らせです♡

相談無料・秘密厳守

社協の
「いつもの相談室」

お仕事のお悩み、生活上のお悩み
……、ひとりで抱え込まずにお話しし
てみませんか？

日時：2月25日(水) 15:30～17:30
会場：永平寺町やすらぎの郷
(石上27-1)

カウンセラー：東間 正人氏

(福井大学医学部付属病院)

神経科精神科医師)

※先着2名(予約制となります。)

あったかい地域づくりのために
「地域の福祉力
向上セミナー」

「地域のことは地域で解決していく」

地域の福祉課題の解決方法について

【お申し込み・お問い合わせ】

永平寺町社会福祉協議会

☎0776-64-3000

て、皆さんと一緒に考えてみませんか？

日時：3月1日(日) 13:00～16:30

会場：上志比文化会館サンサンホール
(石上29-67-1)

内容：講演「ひきこもりの理解と対応」

講師：岡村久美氏

(福井県総合福祉相談所)

障害者支援課)

☆講演会のあとは、福祉課題解決に役
立つ分科会を予定しております(要)

講演会のお知らせ

中学生の心の
変化を知ろう

日時：3月8日(日) 14:00～15:30

会場：松岡福祉総合センター翠荘

(松岡吉野塚15-44)

内容：講演「中学生の心の変化とその
対応について」

講師：吉弘淳一氏

(福井県立大学看護福祉学部)

社会学科 准教授)

※参加をご希望の方は事前にお申し込
みください。



地域福祉研修会

「♪花は咲く」で
手話を楽しもう！

日時：3月11日(水) 19:30～21:00

会場：永平寺開発センター

(東古市10-5)

内容：「聴覚障がい者に寄り添うた
めに、簡単な手話に触れよう」

・自己紹介、挨拶、数字を手話で
表現しよう。

・東日本大震災復興テーマソング
「花は咲く」を手話で歌おう。

講師：木下あこや氏

(松岡手話サークル友情)



木下 あこやさん

―木下あこやさんプロフィール―
1963年2月26日出生まれ。看護学校卒業後、近畿医
科大学付属病院を経て、旧福井医科大学病院へ就職の
ため旧松岡町に転居。永平寺町社協にて看護師(訪問
入浴事業)、健康運動指導士(介護予防指導)、ミュー
ジック・ケアワーカーとして勤務。

※参加をご希望の方は事前にお申し込
みください。

東日本大震災

「忘れないプロジェクト」

福島県南相馬市
視察研修

被災地の現状を把握し、

遠く離れたこの永平寺町から

何ができるのかを

一緒に考えていきたいと思います。

参加者募集！

日時：3月6日(金)～8日(日)

※6日の夜に出発

8日夕方帰着予定

※6日は車中泊、7日はビジネ

スホテル宿泊となります。

視察先：福島県南相馬市

南相馬市災害復旧復興

ボランティアセンター等

参加費：5,000円

定員：15名

募集締め切り：3月2日(月)

※定員になり次第、募集を締め

切らせていただきます。

【お申し込み・お問い合わせ】

永平寺町ボランティアセンター

☎0776-64-3000



相談は無料!!

必 配 ご と 相 談

～秘密は必ず守ります～

ふだんの暮らしの中での困り事はお気軽にご相談ください。

弁護士による無料法律相談 13:00～16:00

法律問題でお悩みの方を対象に、弁護士による無料法律相談を行っています。1日8名の方まで相談を受け付けております。※事前に電話予約が必要となります。

2月26日(木) 永平寺老人福祉センター「永寿苑」

担当弁護士：市川 徹氏

3月26日(木) 永平寺町やすらぎの郷

担当弁護士：野形 昌三氏

4月23日(木) 松岡福祉総合センター「翠荘」

担当弁護士：未定

たとえば…

- ◆遺言・相続について……
- ◆消費者トラブルについて……
- ◆結婚・離婚について……
- ◆近隣とのトラブルについて…
- ◆財産管理について……など、
お気軽にご相談ください。



福祉総合相談 13:30～16:00

3月5日(木) 松岡福祉総合センター「翠荘」

相談員：民生委員児童委員(松岡支部)

3月12日(木) 永平寺老人福祉センター「永寿苑」

相談員：民生委員児童委員(永平寺支部)

3月19日(木) 永平寺町やすらぎの郷

相談員：民生委員児童委員(上志比支部)

専門カウンセラーによる子育て相談 13:30～16:30

カウンセラー：富田 純子氏

3月9日(月) 永平寺老人福祉センター「永寿苑」

※1件あたりの相談時間は50分程度です。

※事前に電話予約が必要となります。

在宅ケア普及啓発講演会

「おうちパワー」はすごい!!!

～在宅専門医の実践体験から～

「住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい。」
たとえ病気になったとしても、自宅でどんな医療、介護が受けられるのか…。「家」に秘められたパワーについて、在宅医療専門医の立場からお伝えします。

日時 3月12日(木) 19:00～20:00

会場 松岡福祉総合センター翠荘
(松岡吉野塚15-44)

講師 **紅谷 浩之氏**

(オレンジホームケアクリニック医師)

※オレンジホームケアクリニックは
福井県初の在宅医療専門クリニックです。

定員 50名

※参加をご希望の方は事前にお申し込みください。



紅谷浩之氏 プロフィール

オレンジホームケアクリニック代表、在宅医療専門医。

1976年福井県生まれ。福井県立病院などで救急総合診療を学んだ後、名田庄診療所、高浜町立和田診療所で地域医療を実践。

2011年に地元の福井市内で同クリニックを開業。

「Be Happy」を合い言葉に、住み慣れた場所で幸せに自分らしく生きていける地域を目指して、日々様々な活動を行っている。

お申し込み・お問い合わせは

永平寺町社会福祉協議会 地域包括支援センター

☎64-3535



寄附御礼

次の皆様から、社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。

皆様からいただいた寄付金・寄贈品は、寄付されました方の希望される用途を尊重させていただきますとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

平成27年1月 1日~1月31日

	受領日	氏名	(住所)	金額(品名)	受入区分
寄付金	1月27日	永平寺町立図書館様	松岡神明	¥4,342	地域福祉活動事業
物品	1月22日	匿名様	匿住所	お米5kg	生活福祉資金貸付事業

ほほえみあふれる
福祉のまちづくり

永平寺町社会福祉協議会

<http://www.eiheijishakyo.jp/>

永平寺町社会福祉協議会

〒910-1313
永平寺町石上27-27(永平寺町やすらぎの郷内)

☎ 64-3000 FAX 64-3103

●法人運営課

●地域福祉推進課

ボランティアセンター

高齢者・障害者日常生活自立支援センター

成年後見サポートセンター「ふわり」

障害者相談支援事業所

上志比地区地域福祉係

かみしひ居宅介護支援事業所

☎ 64-3337 FAX 64-3103

●在宅福祉サービス課

福祉用具貸与事業所 ふくちゃん

☎ 64-3450

上志比デイサービスセンター

☎ 64-3000 FAX 64-3103

●地域包括支援センター

☎ 64-3535 FAX 64-3103



永平寺事務所

〒910-1217
永平寺町飯島6-34(永平寺老人福祉センター内)

☎ 63-3868
FAX 63-3869

- 永平寺地区地域福祉係
- 在宅介護支援センター(永平寺)
- 永平寺デイサービスセンター
- 永平寺老人福祉センター
- えいへいじ居宅介護支援事業所
☎ 63-3305 FAX 63-3869
- えいへいじ訪問介護ステーション
- えいへいじ訪問入浴介護事業所
☎ 63-1119

松岡事務所

〒910-1127
永平寺町松岡吉野塚15-44(松岡福祉総合センター内)

☎ 61-0111
FAX 61-1797

- 松岡地区地域福祉係
 - 在宅介護支援センター(松岡)
 - ☎ 61-4300
 - まつおか居宅介護支援事業所
☎ 61-3352 FAX 61-1797
 - いきいきクラブ・こつこつ教室
 - 松岡デイサービスセンター
☎ 61-4575 FAX 61-4576
- 〒910-1127 永平寺町松岡吉野塚15-47



小規模多機能型居宅介護事業所

ほっこり

〒910-1201
永平寺町鳴鹿山鹿22-39

☎ 63-2233
FAX 63-4433

編集後記

目を閉じて

目を閉じると

おさげ髪の私が

元気に

かけまわっている

私を呼ぶ 母の声

空を流れる 白い雲

何処までも広い

菜の花畑

九十二歳の今

目を閉じて見る

ひとときの世界が

とても 楽しい

― 柴田トヨ ―



今回のチャリティ映画の上映作品である『くじけないで』は実話に基づいた映画です。その主人公、柴田トヨさんの詩集より私が特に好きな詩を掲載させていただきました。

産経新聞1面「朝の詩」の常連だった柴田トヨさん。この「目を閉じて」は最初に掲載された作品とのこと。

さて、子どもの頃のトヨさんはコメ問屋として裕福だった家が傾き、奉公に出、苦しい思い出も多かったそうです。それでも、こんなに楽しい作品が詩人としてのスタートを飾ったのは、人生を前向きに見つめ、多くの人に勇気を与えたトヨさんにふさわしいですね。

たくさんの方の感動と勇気を私たちにもたらしてくれる映画『くじけないで』。

多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

光YUJI

癒しの空間で、優しいときを過ごしてほしい—

「茶まのおもてなし」

CHAMANO OMOTENASHI CAFE



昔ながらの住宅が軒を連ねる一角にたたずむ酒屋さん。店舗と建物を同じくしてOPENしているのが、カフェ「茶まのおもてなし」だ。店内に足を踏み入れると、まず目を引くのが、色鮮やかなお花、そしてオーナーの蔵さんが厳選したという趣向に富んだ雑貨の数々。店内の奥に進むと、ゆっくりとくつろげる喫茶スペースが広がる。

色鮮やかな緑に彩られた竹林の壁紙、生け花、そして大きなガラス窓の向こうに広がる庭は非常に味わい深く、思わず見とれてしまう。「和」と「洋」



落ち着いた雰囲気のおかげで、ゆったりとした時が流れる…。

が融合した雰囲気を肌で感じることもできる場所だ。

「もともとは父と母のために始めたお店なんです。」

3年前、蔵さんのお母様が脳梗塞を患い、身体が不自由に。生活が限られ、外に出かけることが困難な状態となる。

「このままじゃいけない。今しかできないことをやらなければ。」

外出ができないお母様に喜んでもらいたい！その一途な思いから当時勤めていた会社を退職。

一念発起してお店を開くことに。

「周囲の反対は当然ありました。でも、自分がしたいことは、やろうと思った時にしかできない。後悔したくはなかった。」

お母様のために始めたお店だったが、今では地域の人々にとって静かなときを過ごせる、癒しの空間へと変わっている。

「わざわざした世の中だからこそ、ここではゆっくりと優しい『とき』を感じて穏やかに過ごして欲しい。」



コーヒー1杯にもこだわりとおもてなしの心遣いを感じられる。美しい丸谷焼の器で丁寧に入れられたコーヒーの味は格別だ。



茶まのおもてなし

〒910-1118 永平寺町松岡薬師1-124
TEL:0776-61-0368
営業日:月曜日~金曜日(土、日、祝休み)
時間:10時~17時
☆ランチは1日限定10食!
(前日16時までに要予約)

また、蔵さんはこつも続ける。「来ていただいた方に『最高に良かった』と思っていただけのために、おもてなしの気持ちが大変だと思っんです。言葉では簡単ですけど、お客様をおもてなしすることって大変ですよ。でも、大変なこと、面倒だと思いがちなことが、実は一番大切だと思います。」

蔵さんのおもてなしの心とこだわりを美味しい料理とともに味わうことができる「茶まのおもてなし」。一度訪れてみてはいかがだろうか。